

EdTech 導入補助金2022

令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

効果報告レポート

【事業者名】

ウィンバード株式会社

【ツール名】

授業支援 for Chrome

【ツールの機能分類】

学習支援・授業支援 (LMS)

2023年2月

Win Bird

教育への新しいビジョンを



■ EdTech ツールの概要

- 1人1台端末環境における **授業支援システム**（Chromeブラウザ向け）
- 教職員の **スムーズな授業進行を支える** 機能に特化
- インターネットに接続できる環境なら、**校内・校外どこでも** 使用可能



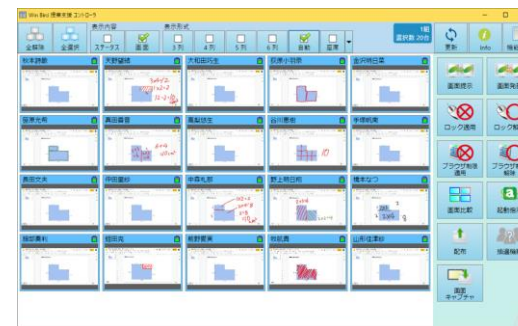
製品紹介動画 <https://youtu.be/mNyVjEEk3QU>

Google Classroomとの親和性の高さ



Google Classroomのクラスに登録されている児童生徒・教職員名やグループが自動的に反映されます。
本製品における名簿登録作業や年次更新作業は不要です。

デスクトップ全体をモニタリング



特定のアプリケーションやブラウザが画面だけでなく、デスクトップ全体をモニタリングできます。
ドリル教材など、どのようなアプリケーションを使用中でも状況を把握することができます。

● 参考価格：80円/月・人

教科・学年にとらわれることなく
あらゆる学習シーンで活用可能



授業進行のメリハリ

ロック適用 / 解除

キーボード・マウス操作をロックします。
ロックまでの時間・時刻の指定をすると、時間を区切った調べ学習やパソコンを使ったテストに活用できます。



授業のスムーズな進行、操作補助

起動指示、URL転送

WebアプリケーションやWebサイトのURLを転送・起動します。
Googleアプリは共有状態から始められ、操作の手間を省けます。
パソコン操作に不慣れな段階での操作補助としても活用できます。



リアルタイムで状況把握

モニタリング

生徒のパソコンの状況をひと目で確認できます。
多様なモニタリング形式の中から、授業に合った形式を選択することができます。



創作・表現活動への集中

ブラウザ制限適用 / 解除

除外設定されたWebサイトや指定されたアプリ以外のWebページの表示を制限します。
活動に集中させるだけでなく、CBTテスト実施時のカンニング対策にも活用できます。



偏りなく生徒に発言・活動機会を与える

抽選

生徒機からランダムに1名を抽選します。
選ばれた生徒の画面は他の生徒機へ転送したり拡大表示したりすることができ、発表活動に活用できます。



手元で意見を共有

画面提示 / 発表

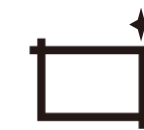
画面提示では、先生機の画面を生徒機に一斉または個別に転送します。
画面発表では、特定の生徒機の画面を他の生徒機や先生機の画面に一斉に転送します。



生徒の思考整理、意見交換・共有

画面比較

メイン画面とは別のウィンドウでモニタリングをします。
比較画面を並べ替えたり絞り込んだりすれば、生徒の考えを整理したり話し合い活動に活用したりすることができます。



授業の取り組みを記録

画面キャプチャ

モニタリング中の生徒の画面を画像データとして記録・保存します。
授業の振り返りや評価材料として活用できます。

GIGAスクール構想下での Chromebook 利用における授業での運用課題

トライアル実施校の先生へアンケートを依頼したところ、以下のご回答をいただきました。

- ① 児童・生徒画面の制御ができず、一斉指導が難しい場面がある。
- ② 特定のアプリケーションを除き、児童の作業内容の把握を教師用のタブレットで行えない。
- ③ 児童の画面を一斉に表示できる機能に制約がある。
- ④ Googleのアプリを使用する際、児童全体の様子、モニタリングができない。
- ⑤ 児童・生徒同士の画面を比較したりすることができない。
- ⑥ 児童・生徒が立ち上げるアプリの起動に時間がかかっている。
- ⑦ 発表者の画面を児童・生徒に転送できない。
- ⑧ 児童・生徒にすぐに見たり使ったりしてほしいサイトを送信できない。

授業支援 for Chromeを授業で使用した先生方の感想

授業の 効率化

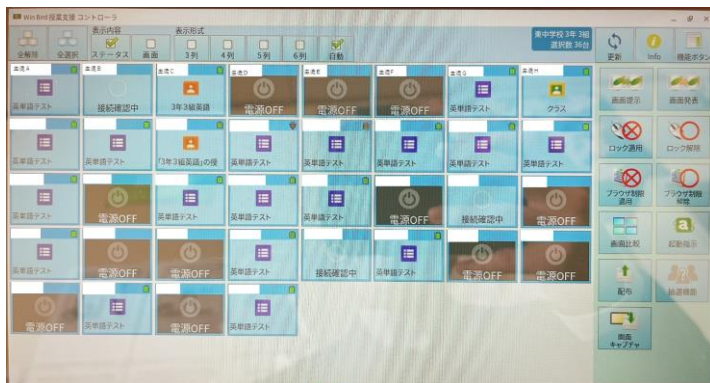
- 今までPC教室で利用していた授業支援同様、ロックなどの操作ができ、授業内での指示がスムーズになった。
- Google Chromeアプリでも全画面共有できるので良かった。
- 一斉指導がしやすくなった(資料等の可視化、児童機のコントロールなど)。
- URL転送により、サイトのURLをタブレットに転送する事が容易になった。

授業を
よりスムーズに

児童・生徒の 学習状況の 可視化

- 各生徒の進行具合を把握できるようになった。
- 一度に全員の活動状況を把握できるようになった。
- 生徒のタブレット活用能力の把握ができるようになった。
- 自宅にいる生徒のタブレット状況も確認でき、適切な使い方に繋がった。

より速い判断
で対応

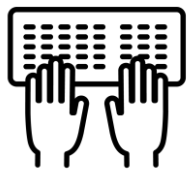


授業支援 for Chromeにおいてよく利用されている機能



モニタリング

生徒のパソコンの状況をひと目で確認できます。
多様なモニタリング形式の中から、授業に合った形式を選択することができます。



ロック適用 / 解除

キーボード・マウス操作をロックします。
ロックまでの時間・時刻の指定をすると、
時間を区切った調べ学習やパソコンを
使ったテストに活用できます。



画面提示 / 発表

画面提示では、先生機の画面を生徒機に一
斉または個別に転送します。
画面発表では、特定の生徒機の画面を他の
生徒機や先生機の画面に一斉に転送します。



画面比較

メイン画面とは別のウィンドウでモニタリングを
します。
比較画面を並べ替えたり絞り込んだりすれば、生
徒の考えを整理したり話し合い活動に活用したり
することができます。



起動指示、URL転送

WebアプリケーションやWebサイトのURLを転
送・起動します。
Googleアプリは共有状態から始められ、操作の手
間を省けます。
パソコン操作に不慣れな段階での操作補助として
も活用できます。

■ 補助事業において実施したサポート内容

Win Bird通常サポート

専任の担当者が自治体様と一緒に **運用開始** ～ **活用促進** までサポート

STEP1

設定

各学校で運用開始できるように、
現地や電話にて設定やインストールをサポートします。

STEP2

運用開始

授業支援 for Chromeを
より使っていただくために
講習会を現地やオンライン
にて実施、動画マニュアル
の提供を行います。

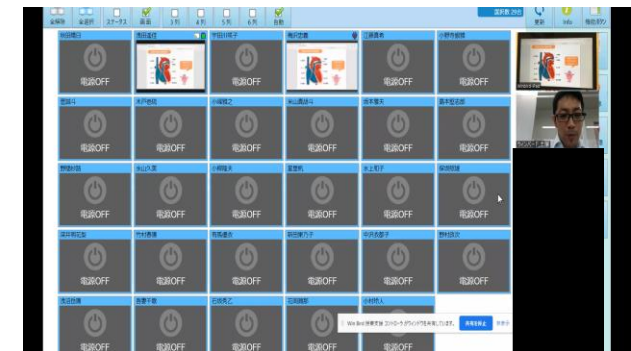
STEP3

運用後

- 活用促進のための相談や提案を行います。
- ICT支援員様などに勉強会を実施し、活用促進に繋がります。
- 活用状況や改善要望をヒアリング、アンケートを実施し、新機能の実装へ繋がります。

常時サポート内容

- サポートサイト、サポートセンターによる電話およびメールでのサポート
(サポートセンターは、月～金 9:00～12:00 / 13:00～18:00 弊社休業日は除く)
- 新機能実装時のお知らせ
- 活用セミナー (不定期開催)



オンライン講習会の様子

トライアル実施自治体（埼玉県 A市様、長野県 B町様 計2自治体）

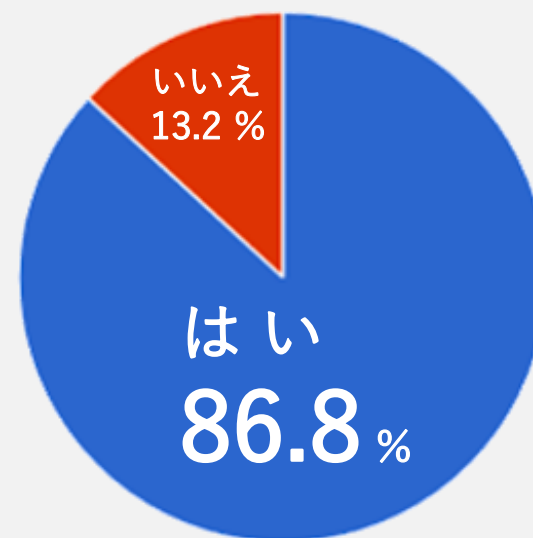
実施学校数（単位：校）

	埼玉県 A市	長野県 B町
小学校	11	0
中学校	3	1
合計	14	1

ライセンス数（単位：ユーザー）

	埼玉県 A市	長野県 B町
教員	285	60
児童・生徒	3,853	440
合計	4,138	500

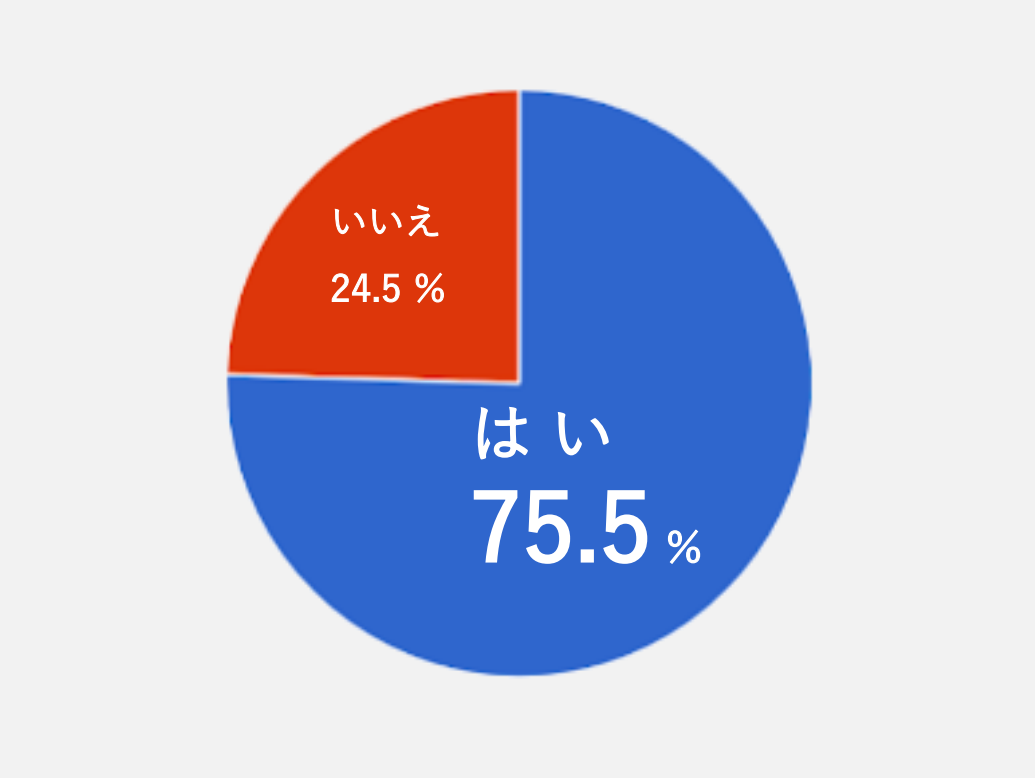
授業支援 for Chromeを今後も使いたいですか。
（アンケートより）



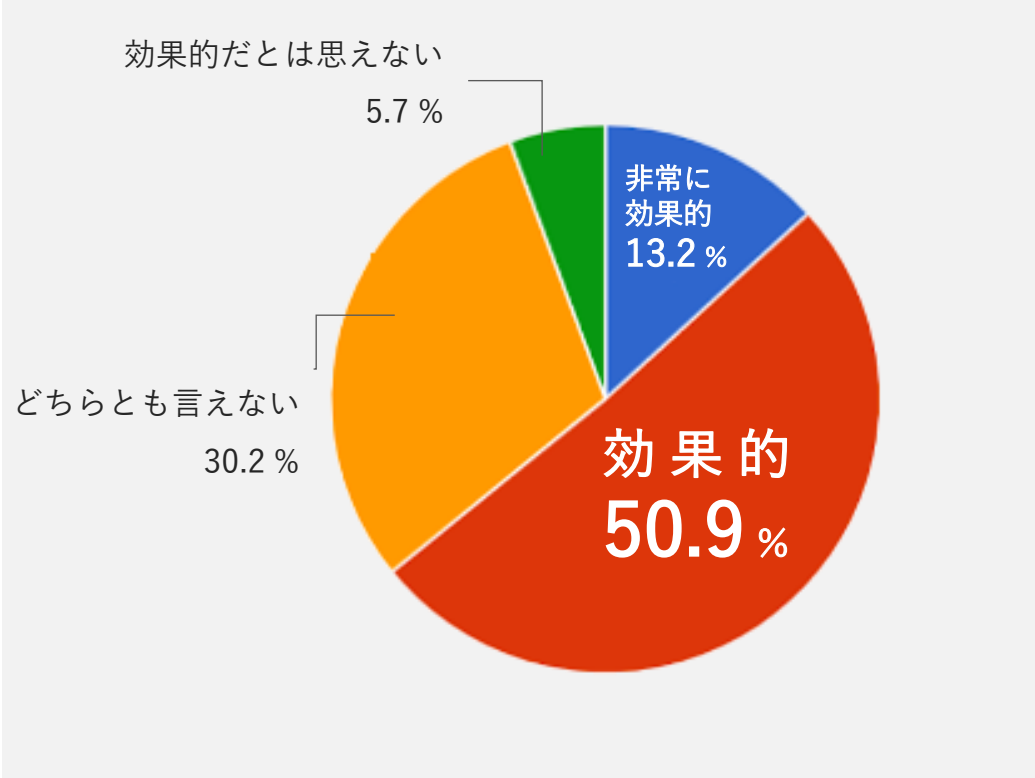
『今後も利用したい』という声が多く
満足度の高い結果をいただきました。

■ EdTechツールによる活用効果

1. 授業支援 for Chromeは
ICT (タブレットやソフト、電子黒板など)の活用推進に
つながっていると思いますか。 (53件の回答)



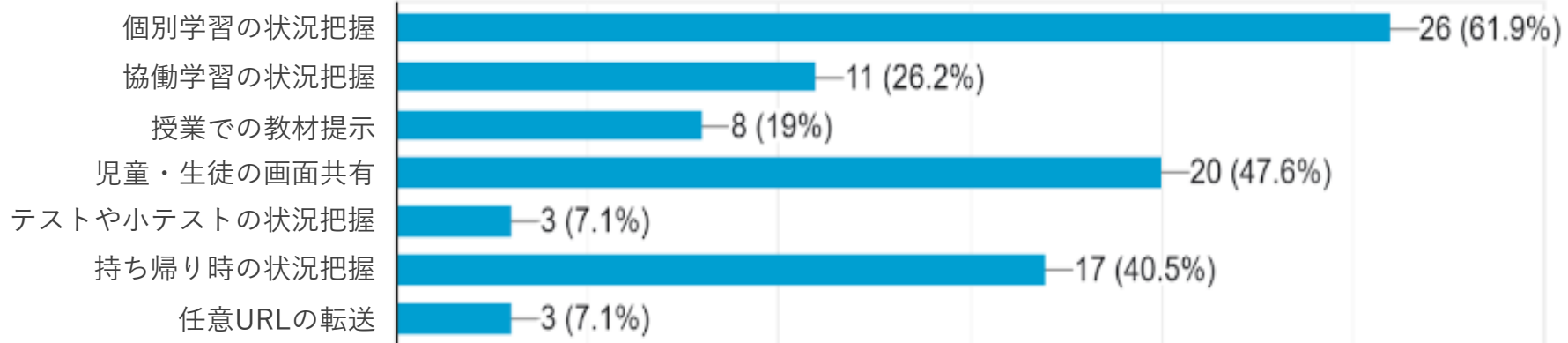
2. 授業支援 for Chromeは
子どもたちの学習において効果的だと思いますか。 (53件の回答)



EdTechツールによる活用効果

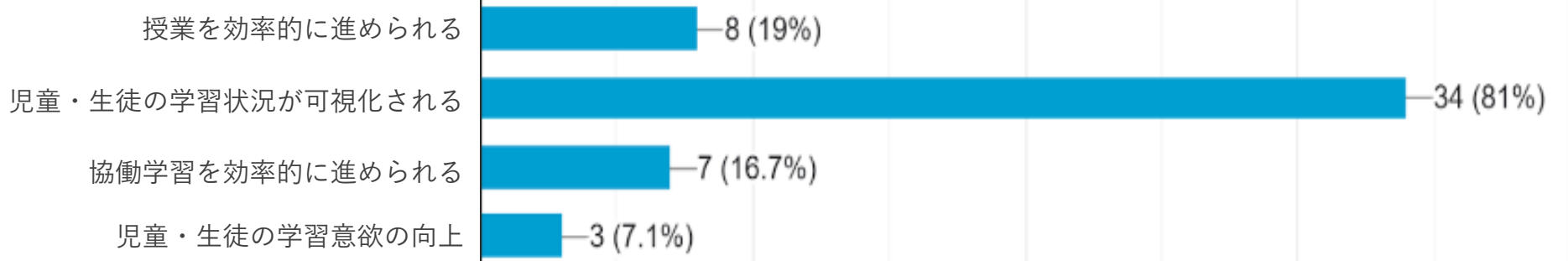
3. 授業支援 for Chromeを **どのようなシーン**で利用しましたか。

(42件の回答)



4. 授業支援 for Chromeを利用することで **どのような効果**が得られたと思いますか。

(42件の回答)



情報担当の先生方からの 活用前と活用後の評価

活用前

児童・生徒画面の制御ができないため、一斉指導が難しい場面がある。

特定のアプリケーションを除き、児童の作業内容の把握を教師用のタブレットで行えない。

児童の画面を一斉に表示できる機能に制約がある。

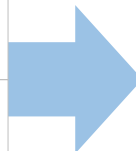
Googleのアプリを使用する際、児童全体の様子、モニタリングができない。

児童・生徒同士の画面を比較したりすることができない。

児童・生徒が立ち上げるアプリの起動に時間が掛かっている。

発表者の画面を児童・生徒に転送できない。

直ぐ児童・生徒に見て使って欲しい又は調べて欲しいサイトを送信できない。



活用後

児童・生徒画面が制御できるようになり、**指導しやすくなった。**

児童の作業内容の把握が容易になった。作業をやめて教師に注目させたい時、ロック機能が有効的だった。**必要なファイルの一斉配付ができるようになった。**

児童の画面を一斉に表示できるようになった。

デスクトップのモニタリングができ、**個別に助言できるようになった。**授業の途中でロックができ、**メリハリがついた。**

児童の画面同士を比較し、**共通している部分や違う部分話し合いやすくなった。**児童の画面状況が把握できるので、**個別のフォローがしやすくなった。**

先生画面からアプリの起動ができるようになり、**立上げ時間が減り、予定通りの授業が実施できるようになった。**

画面転送機能でクラスのメンバーに**発表者の画面が転送できるようになった。**

児童に必要なサイトをURL転送機能で送信できるようになり、**次の展開を楽に進めることができるようになった。**

■ EdTechツールの導入・運用における課題とその改善策

課題

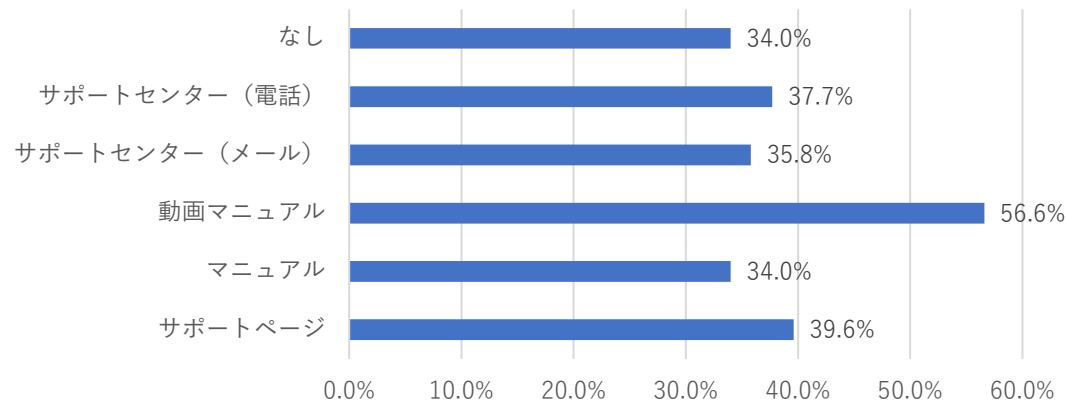
家庭にChromebookを持ち帰った際のセキュリティー管理関連の強化。web制限を予約でかけられるようにするなど。土日の夜9時から朝の7時までweb制限をかけるなど。

個別にメッセージができるとうい。

児童が考えを表現したり共有したりしやすくなるとよい。

一斉に操作する内容に時差がある。（例：画面をロックしても、一部の児童の端末はロックされない）その部分の改善を期待。

あることの知らなかったサポート



改善策

夜間利用制限の機能を搭載。（対応済み）

先生からの個別にメッセージが送れるような機能を開発部へフィードバックを行う。

Googleアプリの共有機能などとの組み合わせ利用を行う。
また、サポートサイトに活用事例を記載。

現地での調査や開発へフィードバックを行い改善する。

サポートサイトの認知が十分にされていなかった。特に、テキストを読むのが忙しい先生が個々のタイミングで使い方を学べる「動画マニュアル」の認知度が低かった。

教育委員会様を通じて、動画マニュアル及びサポートサイトの認知度アップを行う。また、動画マニュアルの更新を引き続き行う。

■ 会社概要

教育への新しいビジョンを

Win Bird ウィンバード株式会社



設立

1991年4月

代表者

代表取締役 山下 好子

所在地

〒431-0301 静岡県湖西市新居町中之郷3994

事業内容

教育ソフトメーカー
官公庁向けソフト開発及びコンサルティング業務

加入団体等

一般社団法人 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC)
一般社団法人 ICT CONNECT 21
Google For Education Partner
一般財団法人 全国地域情報化推進協会 (APPLIC)
情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC 27001)
プライバシーマーク制度

ウェブサイト

<https://www.winbird-gp.co.jp>

問い合わせ窓口

電話 053-595-1255 / メール info@winbird-gp.co.jp (担当：三輪 (みわ))



導入により得られた効果

- **個別のフォローや指導** がしやすくなった
- 授業に **メリハリ** がついた
- **授業の効率化** に結び付いている



考 察

— 「優しい授業環境作り」の礎に

- モニタリング（CBTでのカンニング対策、 自宅からの授業参加も）
- 画面提示/発表
- 端末制御（ロックやブラウザ、夜間利用 制限）
- 各種Googleアプリ、ドリルアプリの配布、共有

が可能になり、教員の「**授業設計・運営の補助**」に役立っている